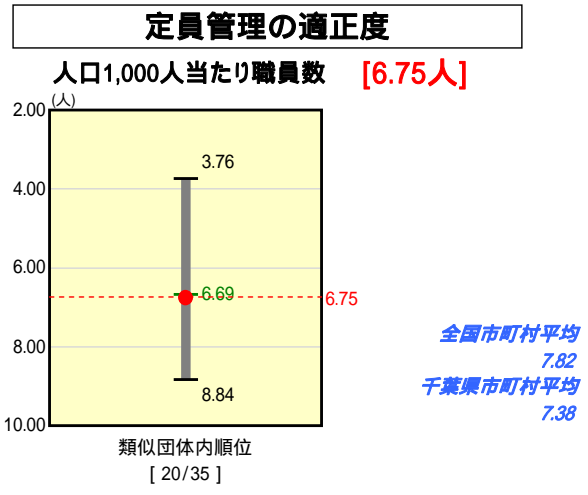
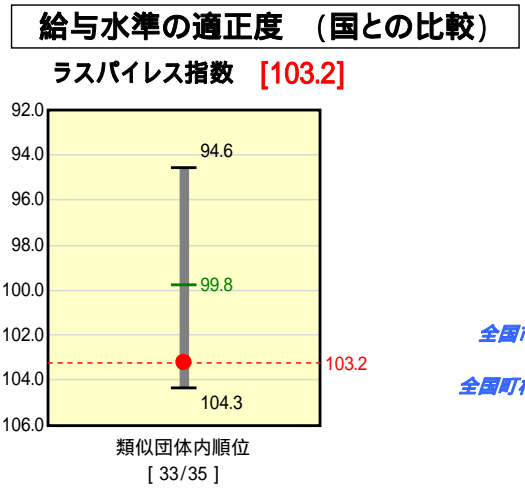
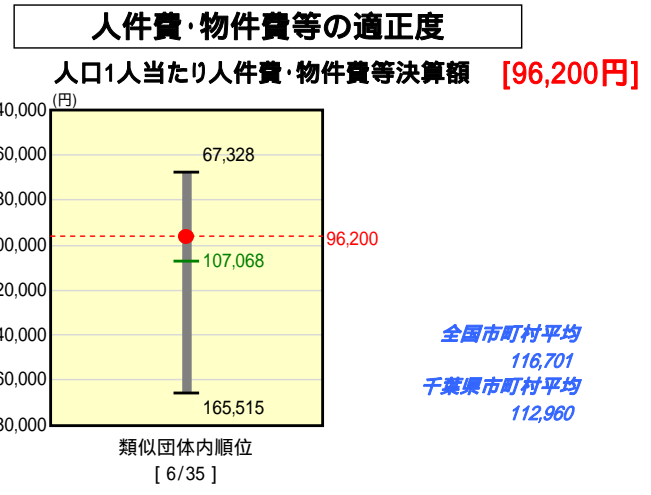
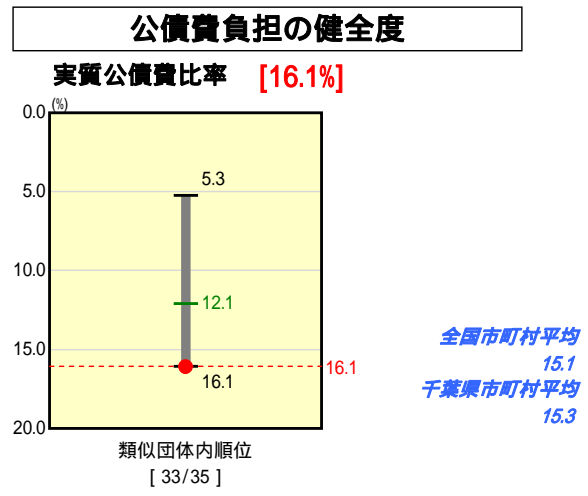
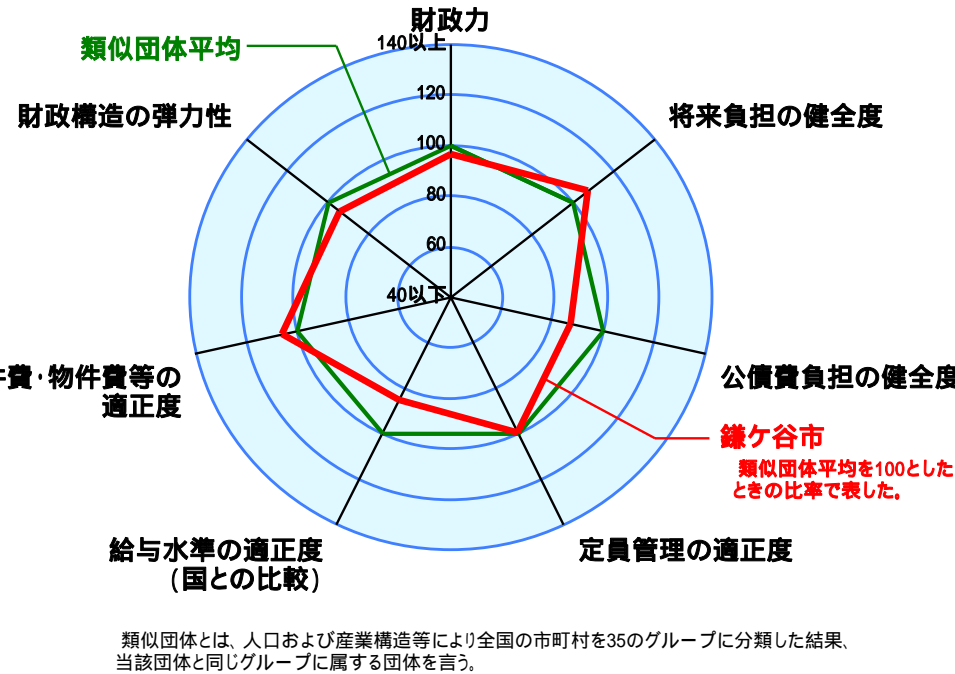
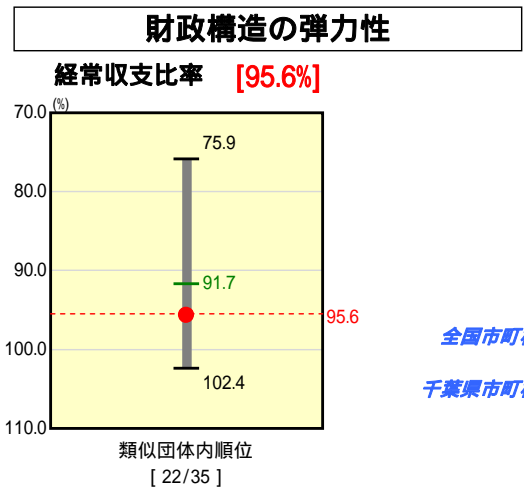
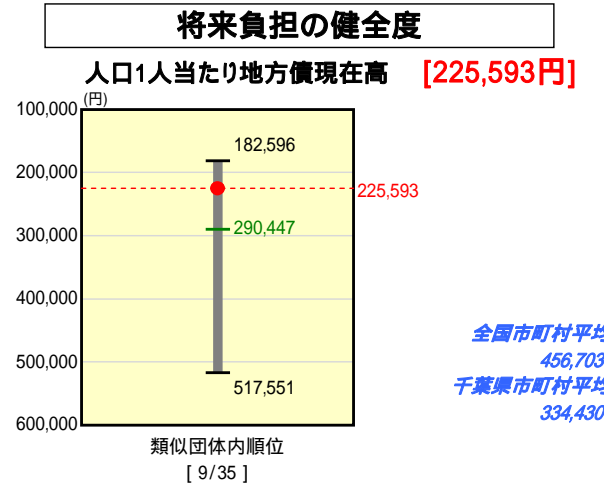
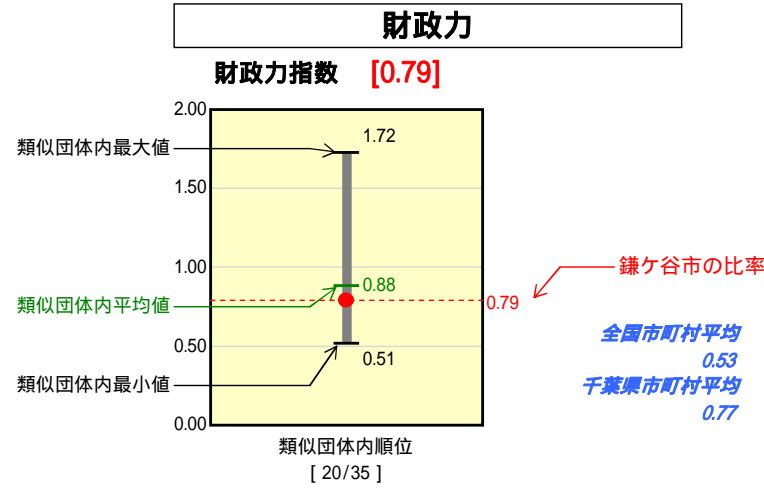


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

千葉県 鎌ヶ谷市

人口	104,321	人(H19.3.31現在)
面積	21.11	km ²
歳入総額	25,728,164	千円
歳出総額	24,271,588	千円
実質収支	1,300,916	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

鎌ヶ谷市では、「集中改革プラン21」を策定し、下記の指標を含めた各種数値目標を設定し、財政の健全化や定員管理・給与の適正化に取り組みます。

財政力指数:
長引く景気低迷により平成2年度の0.865を境に、平成13年度の0.728まで低下傾向にあったが、経常経費の見直し、投資的経費の抑制、人件費の削減などの歳出削減により、平成14年度からは上昇傾向に転じ、平成18年度は0.79と県内市町村平均を上回ることとなった。しかしながら、類似団体平均を下回っているため、なお一層の行政改革を推進し、財政基盤の強化に努める。

経常収支比率:
平成11年度の81.2%を境に上昇傾向にあり、平成18年度の歳入面では、地方交付税や臨時財政対策債の減少などにより、歳出面では、少子高齢化への対応による扶助費の増加などにより、95.6%まで上昇した。今後は、経常経費の見直し、市税などの徴収率の向上を図ることで改善に努める。

ラスパイレズ指数:
各職務の級における職務、職責に応じた構造への転換を図ることで給与水準の適正化を図る。

実質公債費比率:
下水道事業、一部事務組合の地方債や、都市公社による用地先行取得の債務負担行為などにより、16.1%と類似団体平均を上回ることとなった。今後は事業の選択にあたり、緊急度・住民ニーズのよりの確な把握に努め、適切な公債管理を行う。

人口1人当たり地方債現在高:
近年、市単独の大規模事業が減少しているため、類似団体平均を6万5千円程度下回っている。今後も地方債が大幅に増加しないように努める。

人口1,000人当たり職員数:
平成17年度～平成19年度は第4次定員適正化計画時期にあり、平成19年度目標定員は737名である。平成18年度職員数は、749名となっており、今後の大量退職への対応を踏まえ適正な定員管理に努める。

人口1人当たりの人件費・物件費等決算額:
人件費の抑制、物件費の削減等により、類似団体平均より低い額となっている。今後とも、経常経費の抑制に努め、財政の健全化を図る。